

【厚労省事業(テトロイトトーマツ)】トップマネジメント研修 (2023.8.31.)

# 事例発表講演

～旭川赤十字病院の働き方改革への取り組み～

旭川赤十字病院院長  
牧野憲一

## 発表者のCOI開示

今回の講演内容に関し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません

# 働き方改革を進めるポイント

1. **意識改革**：医師も労働者であり労働時間管理が求められる
2. **環境整備**
  - ① タスクシフト
  - ② 会議・研修等の時間外開催や電子化
3. **出退勤管理**：タイムレコーダー（等）による出退勤管理
  - ① 電子カルテ端末からでも出退勤入力ができる仕組み
  - ② 未打刻者に対する打刻要請（繰り返し実施）
4. **時間外労働の申告と管理**
  - ① 時間外労働実施状況の把握
  - ② 960時間越えの医師をつくらないために
    - ・ 長時間勤務者に対する健康措置（産業医等による面談）
    - ・ 診療部長への診療科内での勤務割変更依頼
  - ③ 宿日直への対応

# 医師の働き方改革

- 2018年2月27日 医師の働き方改革検討会

1 医師の労働は裁量労働ではないことを明確化

2 管理者が勤務時間を把握し長時間労働を防止

5. 女性医師等に対する支援

6. 医療機関の状況に応じた医師の労働時間短縮に向けた取組

# 働き方改革の第1歩は“意識改革”

- 医師も労働者であり労働時間管理が求められることを明確にする
- 院長が病院として働き方改革に取り組む姿勢を示す
- これを繰り返し伝える
- 前述のポイント2～4を着実に進める
  - 環境整備・出退勤管理・時間外労働の申告と管理

# 働き方改革を進めるポイント

1. 意識改革：医師も労働者であり労働時間管理が求められる
2. 環境整備
  - ① タスクシフト
  - ② 会議・研修等の時間内開催や電子化
3. 出退勤管理：タイムレコーダー（等）による出退勤管理
  - ① 電子カルテ端末からでも出退勤入力ができる仕組み
  - ② 未打刻者に対する打刻要請（繰り返し実施）
4. 時間外労働の申告と管理
  - ① 時間外労働実施状況の把握
  - ② 960時間越えの医師をつくらないために
    - ・ 長時間勤務者に対する健康措置（産業医等による面談）
    - ・ 診療部長への診療科内での勤務割変更依頼
  - ③ 宿日直への対応

# 環境整備 1 : タスクシフト

- 旭川赤十字病院で行ってきたこと
  - 医師事務作業補助者（クラーク）の採用（15対1）
  - 看護師の（献身的）協力
    - 静脈注射・採血・尿道カテ留置等
    - クラークの電子カルテ記載用のメモ作成（口頭指示の事後入力他）
  - メディカルスタッフへの委譲
    - 超音波検査（検査技師・放射線技師）
    - 人工呼吸器の設定・管理（CE）
    - 薬剤師による処方変更・持参薬入力・処方提案など

# 医師事務作業補助者（15対1）

- 実施している業務（主なもの）
  - 診断書作成（下書き）
  - 退院サマリー作成（下書き） RPA
  - クリティカルパス適用患者の一括指示入力（注射指示を含む）
  - 一部の外来での診療補助
    - 外来での電子カルテ入力（問診・検査及び放射線指示・予約等）
  - 電子カルテへの（事後）入力
    - 口頭指示
    - 約束指示の実施
    - 一部の所見記載（特に診療報酬にかかわるもの）
    - 退院時に約束指示等の一括削除 RPA
  - 一部の病棟の医師が参加するカンファレンスに参加して医師のコメントや指示を電子カルテに記載
  - 医療安全・感染管理・がん登録・学会関連データベース入力等

# RPA (Robotic Process Automation)

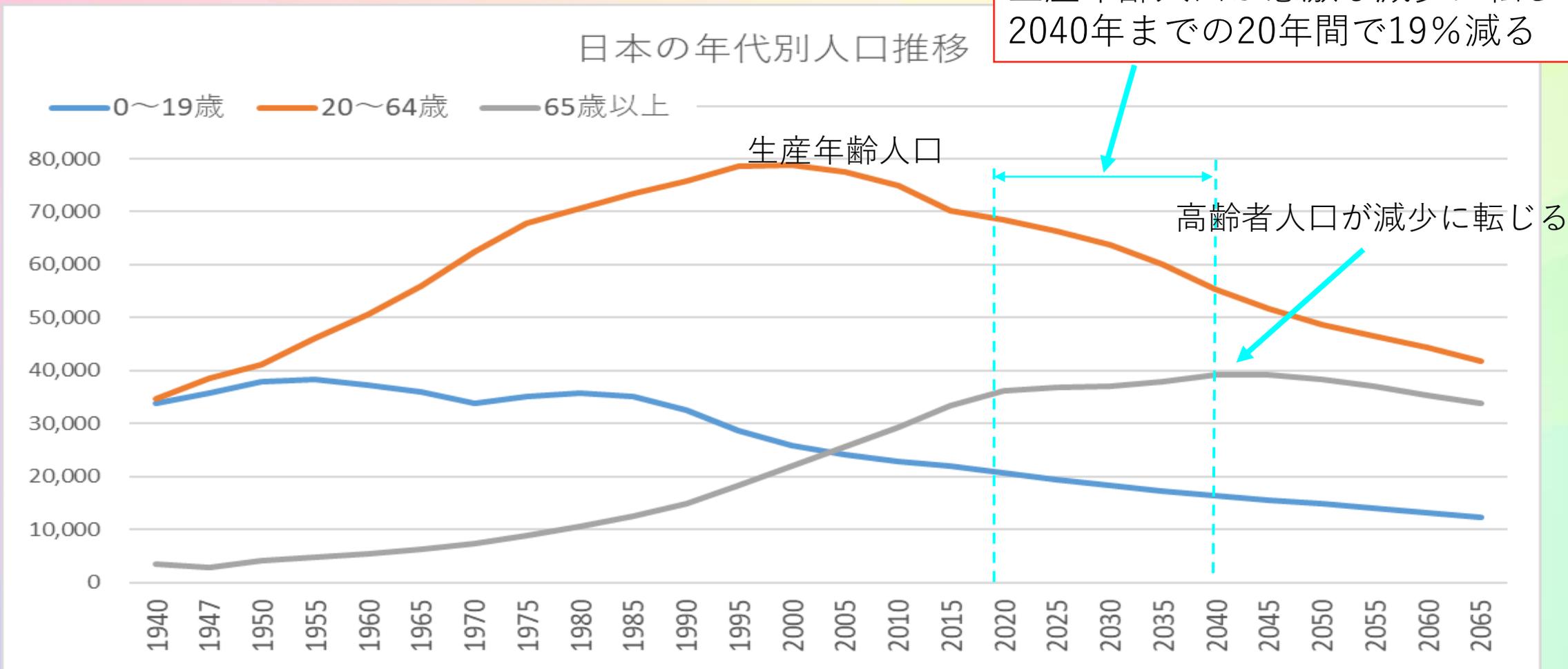
移行時期	係	業務名	RPA業務内容	作業頻度
2021年03月～	秘書係	退院患者の一括指示止め	前日に退院した患者の指示オーダーを退院日で一括止め	毎日
2021年10月～	秘書係	退院時サマリー未承認の督促	未承認サマリーを電子カルテメールにて承認依頼	毎日
2022年01月～	秘書係	委譲者・研修医オーダー未承認の督促	代行入力の未承認を電子カルテメールにて承認依頼	月2回
2022年10月～	秘書係	透析予約代行入力	2週間後の透析予約を代行入力	毎日
移行時期	係	業務名	RPA業務内容	作業頻度
2020年11月～	質管理係	読影医協力による画像診断レポートの注意喚起	読影医が画像レポートに重要所見フラグを立てたことを、オーダー医へ電子カルテメールにて通知	毎日
2021年04月～	質管理係	B型肝炎再活性化 肝炎検査未実施への督促	B型肝炎再活性化の恐れがある薬品を使用した患者に対し肝炎検査が実施されていない場合、担当医へ電子カルテメールにて検査依頼	月1回
2021年09月～	質管理係	画像診断レポート開封ボタン、未開封の督促	レポート作成後2週間で未開封の場合、オーダー医へ電子カルテメールにて開封依頼	毎日
2022年02月～	質管理係	病理レポート開封ボタン、未開封の督促	レポート作成後2週間で未開封の場合、オーダー医へ電子カルテメールにて開封依頼	毎日
2022年11月～	質管理係	病理レポート データ抽出自動化	病理システムよりデータを抽出し所定の場所へ保存	週1回

※旭川赤十字病院ではデジタル推進室を設置し、専従の職員によりRPA利用を拡大中

タスクシフトを行う上で立ちはだかる壁

- 2040年問題

# 日本の年代別人口推移



国立社会保障・人口問題研究所の公開データを基に作成

[https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/P\\_Detail2020.asp?fname=T02-09.htm](https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/P_Detail2020.asp?fname=T02-09.htm)

# 生産年齢人口の大幅な減少（2040年問題）

- それは 働き手の絶対数が減少するという事
- 医師の確保は当然難しいが看護師やメディカルスタッフさらには事務職員、看護補助者といった職種の採用も難しくなる。
- これをどう克服するのが大きな問題



- 各職種における業務の効率化やIT化を考えていくことが必要

# 看護師の業務軽減のためのIT化

## 電子カルテと連携した床頭台 (ユカリアタッチ)

測定項目：体温、血圧、血糖、SpO2、脈拍

**バイタル測定器をかざすだけで、データを電子カルテに登録！**



※現在、看護記録の音声入力 of 導入も検討中

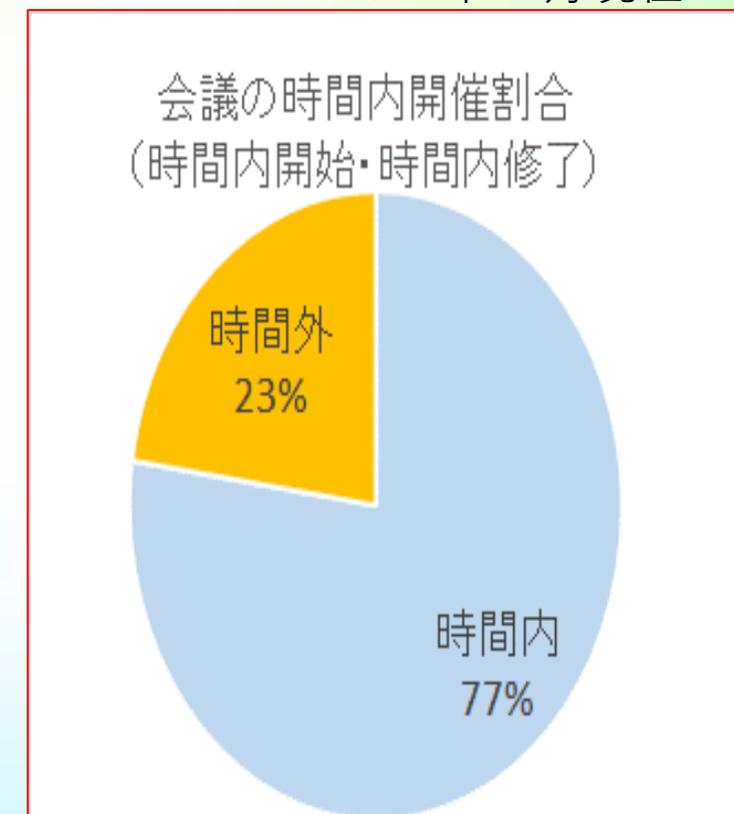
# 医師の負担軽減のためのIT利用

- リモートカルテ
    - 自宅から電子カルテの参照が可能
  - Join (PACSの画像をスマホで閲覧できる)
    - 救急での利用
      - 自院救急患者の画像を自宅で閲覧できる
      - 脳卒中などでは、参加施設（当院以外）の画像も専門医が直接閲覧できる
  - 胸部単純XpのAI診断 (LPIXEL EIRL)
- ※医師のICのカルテへの音声入力導入も検討中

# 環境整備2：会議研修等の対応

- 医師の働き方を見直す
  - 時間外の患者・家族への説明を行わない（推奨）
  - 主治医制からチーム制への移行（推奨）
  - 時間外のチーム回診を行わない（推奨）
- 全職員の時間外勤務削減に向けて
  - 会議は可能な限り勤務時間内に行う
  - 会議時間は可能な限り短時間とする（目標15分）
  - ペーパーレス会議システムの導入
    - 資料作成にかかる手間と紙の削減
    - 個人情報記載された紙の散逸防止
  - 院内研修会の整理とe-learningの活用

2022年10月現在



# 働き方改革の進めるポイント

1. 意識改革：医師も労働者であり労働時間管理が求められる
2. 環境整備
  - ① タスクシフト
  - ② 会議・研修等の時間外開催や電子化
3. 出退勤管理：タイムレコーダー（等）による出退勤管理
  - ① 電子カルテ端末からでも出退勤入力ができる仕組み
  - ② 未打刻者に対する打刻要請（繰り返し実施）
4. 時間外労働の申告と管理
  - ① 時間外労働実施状況の把握
  - ② 960時間越えの医師をつくらないために
    - ・ 長時間勤務者に対する健康措置（産業医等による面談）
    - ・ 診療部長への診療科内での勤務割変更依頼
  - ③ 宿日直への対応

# 出退勤の打刻を徹底させるために

- 打刻するように促しても効果は不十分
- 未打刻を把握し、繰り返し通知を行う必要
- 人的にこの作業を行うことは大きな負担



- 自動化して行う（RPAによる通知システム）

# 働き方改革の進め

1. 意識改革：医師も労働者で
2. 環境整備
  - ① タスクシフト
  - ② 会議・研修等の時間外開催や
3. 出退勤管理：タイムレコー
  - ① 電子カルテ端末からでも出退勤
  - ② 未打刻者に対する打刻要請
4. 時間外労働の申告と管理
  - ① 時間外労働実施状況の把握
  - ② 960時間越えの医師をつくらないために
    - ・ 診療部長への診療科内での勤務割変更依頼
    - ・ 長時間勤務者に対する健康措置（産業医等による面談）
  - ③ 宿日直への対応

The screenshot shows the STORK.Navi interface for reporting duty performance. The header includes the logo and the title '【勤務実績申請】'. The main content area is for the date '2021年11月2日 (火)'. It features a navigation menu on the left with options like '打刻', '申請', '勤務実績申請', '休暇申請', '勤務', '承認', '締め', '連携', '休暇', '帳票', '様式9', and 'ユーザ管理'. The main form area includes a date selector, a time range selector (08:25 ~ 17:00), and a dropdown for '通常勤務'. Below this, there are three rows for '勤務時間' (Duty Time) with input fields for start and end times, dropdowns for '時間外勤務' (Overtime), and a checkbox for '★救急患者診察・処置'. At the bottom, there are buttons for '時間追加', '申請', and '削除'.

# 医師の時間外勤務 申請に関して

## 旭川赤十字病院での特徴1

### 時間外勤務申請システムにて申請する際

- 時間外業務として認めるものを整理し項目化
  - 原則として患者さんに直接かかわる診察・検査・手術・指示出し・診療記録や関連文書の記載に要した時間
  - 病院が必要と認めた研修・会議等
- 研鑽やガイドラインの勉強は厚労省の通知に準拠

# 研鑽に関する考え方（要点）

## 自己研鑽

1. 一般診療における新たな知識、技能習得のための学習
  - ① 診療ガイドラインについての学習
  - ② 新しい治療法や新薬についての勉強
  - ③ 自らが術者等である手術や処置等についての予習や復習
  - ④ シミュレーターを用いた手技の練習
2. 学位（博士号）を取得するための研究及び論文作成や専門医を取得するための症例研究や論文作成
  - ① 学会や外部の勉強会への参加・発表準備
  - ② 院内勉強会への参加、発表準備
  - ③ 本来業務とは区別された臨床研究に係る診療データの整理
  - ④ 症例報告の作成、論文執筆・大学院の受験勉強
  - ⑤ 専門医の取得や更新に係る症例報告作成、講習会受講等

## 業務として認める研鑽項目

1. 業務上必須の研鑽であるとして、**所属長がそれを命じたもの**
  1. 本来業務および本来業務に不可欠な準備や後処理として該当するもの
  2. ~~上司が発表を命じた学会・研究会等での発表の準備・論文作成~~

**※行わない場合に制裁等の不利益があること**
2. 院内で実施する勉強会、研修会
  - ・ 医療安全、感染、医療倫理、ハラスメント、個人情報保護、労務管理などの研修会で

**「参加した場合、業務として認める」と明記されているもの**

# 医師の時間外勤務 申請に関して

## 旭川赤十字病院での特徴2

時間外勤務申請システムにて申請項目を用いて申請

- 項目は内容により☆通常勤務と★救急・手術項目に分けている
- これにより管理者がどのような状況で時間外勤務を行っているかの把握と注意喚起が行いやすい

- 打刻
- 申請
- >> 勤務実績申請
- >> 休暇申請
- 勤務
- 承認
- 締め
- 連携
- 休暇
- 帳票
- 様式 9
- ユーザ管理
- メンテナンス

2021年11月2日 (火)

今日



【日勤】

08:25

~

17:00

通常勤務

- 宿直
- 日直
- 待機

承認済

編集

日	月	火
31	1	2
	日勤	日勤

勤務時間 1

17:00

~

20:00

時間外勤務

★救急患者診察・処置

勤務時間 2

~

時間外勤務

勤務時間 3

~

時間外勤務

時間追加

申請

削除

- ★救急患者診察・処置
- ★外来患者診察・処置
- ★手術・麻酔（予定手術の延長・入院患者の緊急手術）
- ★救急患者手術・麻酔
- ★内視鏡業務の延長・緊急の内視鏡業務
- ★カテーテル業務の延長・緊急のカテーテル業務
- ★待機医師による休日の病棟業務
- ★呼び出しによる患者診察・処置（ ）
- ★患者・家族への説明・同意取得等（ ）
- ★重症患者対応（ ）
- ★午後4時以降に発生した処置・容態悪化等（ ）
- ★午後4時以降の他科からの依頼（ ）
- ★午後4時以降の新入院患者（ ）
- ★医局早朝会議8：15～8：25
- ★会議（会議名： ）
- ★H D業務
- ★分娩業務
- ★病理診断業務
- ★画像読影業務
- ★ドクターヘリ業務
- ★当直業務（22時～7時の間に実働があった時間を申告）
- ★Join対応（10分間）
- ☆勤務時間外のチーム回診・カンファレンス等
- ☆外来・手術等の業務に起因する朝の回診等
- ☆日中業務多忙による病棟回診・文書作成等
- ☆休日の病棟回診等
- ☆業務として認定される研鑽
- ☆その他（ ）

【勤務時間】

# 時間外勤務発生要因別分類

	救急・手術 (★)	通常業務 (☆)
該当するもの	救急患者	病棟回診
	手術	カンファレンス・チーム回診
	緊急の処置・検査	文書作成
	夕方の新入院	通常の新入院
	待機医師による休日の病棟業務	休日回診
	etc.	etc.
医師による実施開始時間の調節	不能	可能
医師による終了時間の調節	不能	可能
業務の忙しさ	相関なし	相関あり

# 時間外管理

- ★項目（救急関連）での
- ☆項目（通常業務）にて
- 勤務をしない様に注意喚起
- 100時間越えや連続月80時
- 安全衛生委員会で審議
- 当該診療科部長に通知し診療科内で特定の医師の時間外勤務のみ多い場合には診療科内での業務分担の見直しを要請

<先日発出した麻酔科部長宛の院内メール>

麻酔科 ○○部長

麻酔科の△△先生の今月の時間外勤務が21日に80時間を超えました。先月も時間外勤務が長時間に及んでいます。安全衛生委員会の規定により△△先生には産業医面談を受けて頂く事になりますが、今後の時間外勤務が多くならないよう業務分担の見直し等の配慮をお願いします。宜しくお願い致します。

院長 牧野

# 長時間労働の医師数推移

年	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1320 h ≧	2	0	0	0
1200 h ≧	0	1	0	0
1080 h ≧	3	1	0	0
960 h ≧	3	1	4	0
840 h ≧	9	8	2	5
720 h ≧	5	7	7	9

## これらの取り組みで感じていること

- 病院として時間外勤務削減に取り組んでいることを各医師が意識するようになった
  - 部長は部下の勤務状況に関心を持つようになった
  - 若い医師は、時間外勤務の申請が多くなると業務制限がかかることを意識するようになった
- 長時間労働を防ぐためには診療科内での960時間越えの医師を作らない為の取り組みが有効
  - 毎年大学から派遣される医師が変わったとしても、新たに来た医師の長時間労働に目を配る

# 働き方改革の進めるポイント

1. 意識改革：医師も労働者であり労働時間管理が求められる
2. 環境整備
  - ① タスクシフト
  - ② 会議・研修等の時間外開催や電子化
3. 出退勤管理：タイムレコーダー（等）による出退勤管理
  - ① 電子カルテ端末からでも出退勤入力ができる仕組み
  - ② 未打刻者に対する打刻要請（繰り返し実施）
4. 時間外労働の申告と管理
  - ① 時間外労働実施状況の把握
  - ② 960時間越えの医師をつくらないために
    - ・ 長時間勤務者に対する健康措置（産業医等による面談）
    - ・ 診療部長への診療科内での勤務割変更依頼
  - ③ 宿日直への対応

# 旭川赤十字病院の夜間・休日対応

- センター当直：救急車の受け入れ担当 ⇒今年7月から交代勤務制
- SCU当直（脳外科医による脳疾患対応） ⇒今年7月から交代勤務制
- 一般当直：walk-in患者及び院内急変対応⇒宿日直基準取得
- ICU当直：ICU担当だが実働は各主治医科 ⇒宿日直基準取得

※これらについては北海道医療勤務環境改善支援センターのサポートを受けた

## <初期研修医当直>

- 2年目研修医（センター当直のサポート） ⇒交代勤務制
- 1年目研修医（一般当直のサポート） ⇒宿日直基準

# 当直性と交代勤務制

宿直前後の勤務があれば時間外勤務となり、年間の時間外勤務時間の増加につながる

	月				火			
<b>当直制</b> 当直料+時間外手当	深夜 休	午前 通常勤務	午後 通常勤務	準夜 当直	深夜 通常勤務	午前 通常勤務	午後 通常勤務	準夜 休
<b>パターン1</b> 交代勤務 前後の日中勤務なし 最も働き方改革が求めている在り方	深夜 休	午前 休	午後 休	準夜 勤務 x 2日分	深夜 休	午前 休	午後 休	準夜 休
<b>パターン2</b> 交代勤務 現在と同じ働き方で翌日1日勤務した場合	深夜 休	午前 時間外勤務	午後 時間外勤務	準夜 勤務 x 2日分	深夜 時間外勤務	午前 時間外勤務	午後 時間外勤務	準夜 休
<b>パターン3</b> 交代勤務 現在と同じ働き方で翌日午後を休む (2024年以降は必須)	深夜 休	午前 時間外勤務	午後 時間外勤務	準夜 勤務 x 2日分	深夜 時間外勤務	午前 時間外勤務	午後 休	準夜 休
<b>パターン4</b> 交代勤務 現在と同じ働き方で翌日全休	深夜 休	午前 時間外勤務	午後 時間外勤務	準夜 勤務 x 2日分	深夜 休	午前 休	午後 休	準夜 休

# 交代勤務制に伴う時間外勤務の申請（平日）

交替制勤務導入に伴う時間外申請

当直日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
月	8:25～ 17:00	<b>夜勤</b> 9:30～ 17:00	通常勤務	通常勤務	通常勤務	
	<b>夜勤</b>	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～	
火	通常勤務	8:25～ 17:00	<b>夜勤</b> 9:30～ 17:00	通常勤務	通常勤務	
	17:00～	<b>夜勤</b>	17:00～	17:00～	17:00～	
水	通常勤務	通常勤務	8:25～ 17:00	<b>夜勤</b> 9:30～ 17:00	通常勤務	
	17:00～	17:00～	<b>夜勤</b>	17:00～	17:00～	
木	通常勤務	通常勤務	通常勤務	8:25～ 17:00	<b>夜勤</b> 9:30～ 17:00	
	17:00～	17:00～	17:00～	<b>夜勤</b>	17:00～	
金	通常勤務	通常勤務	通常勤務	8:25～ 17:00	8:25～ 17:00	<b>夜勤</b> 9:30～ 17:00
	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～	<b>夜勤</b>	17:00～

…従来の申請項目

☆センター**夜勤前**の診療業務（8:25～12:30）

☆センター**夜勤前**の診療業務（13:20～17:00）

☆センター**夜勤後**の診療業務（9:30～12:30）

☆センター**夜勤後**の診療業務（13:20～17:00）

☆センター**夜勤の週休日**の診療業務（8:25～12:30）

☆センター**夜勤の週休日**の診療業務（13:20～17:00）

# 交代勤務制に伴う時間外勤務の申請（休日）

## 【土曜日のセンター日勤】

日直日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
土	通常勤務	通常勤務	通常勤務	通常勤務	8:25～ 17:00	センター 日直
	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～

## 【日曜日のセンター日勤】

日直日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
日	センター 日直	8:25～ 17:00	通常勤務	通常勤務	通常勤務	通常勤務
	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～

## 【土曜日のセンター夜勤】

当直日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
土	通常勤務	通常勤務	8:25～ 17:00	8:25～ 17:00	8:25～ 17:00	夜勤
	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～	夜勤	9:30～ 17:00
						17:00～

## 【日曜日のセンター夜勤】

当直日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
日	8:25～ 17:00	夜勤	8:25～ 17:00	通常勤務	通常勤務	通常勤務
	夜勤	9:30～ 17:00	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～

## 【日・月が連休の日曜のセンター夜勤】

当直日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
日	8:25～ 17:00	夜勤	8:25～ 17:00	8:25～ 17:00	通常勤務	通常勤務
	夜勤	9:30～ 17:00	17:00～	17:00～	17:00～	17:00～

 …従来の申請項目

 ☆センター夜勤前の診療業務（8:25～12:30）  
☆センター夜勤前の診療業務（13:20～17:00）

 ☆センター夜勤後の診療業務（9:30～12:30）  
☆センター夜勤後の診療業務（13:20～17:00）

 ☆センター夜勤の週休日の診療業務（8:25～12:30）  
☆センター夜勤の週休日の診療業務（13:20～17:00）

🕒 打刻

📅 申請

» 勤務実績申請

» 休暇申請

📅 勤務

👤 承認

📅 休暇

🖨️ 帳票

2023年7月15日 (土)

今日



00:00 ~ 00:00

通常勤務

- 宿直
- 日直
- 待機

編集

打刻確認

日	月	火
25	26	27
	日勤	日勤

勤務時間 1	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>	時間外勤務	<input type="text"/>
勤務時間 2	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>	時間外勤務	<input type="text"/>
勤務時間 3	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>	時間外勤務	<input type="text"/>

時間追加

申請

削除

- ★待機区間による休日の病棟業務
- ★呼び出しによる患者診察・処置 ( )
- ★患者・家族への説明・同意取得等 ( )
- ★重症患者対応 ( )
- ★午後4時以降に発生した処置・容態悪化等 ( )
- ★午後4時以降の他科からの依頼 ( )
- ★午後4時以降の新入院患者 ( )
- ★医局早朝会議8:15~8:25
- ★会議 (会議名: )
- ★HD業務
- ★分娩業務
- ★病理診断業務
- ★画像読影業務
- ★ドクターヘリ業務
- ★当直業務 (22時~7時の間に実働があった時間を申告)
- ★Join対応 (10分間)
- ☆勤務時間外のチーム回診・カンファレンス等
- ☆外来・手術等の業務に起因する朝の回診等
- ☆日中業務多忙による病棟回診・文書作成等
- ☆休日の病棟回診等
- ☆業務として認定されうる研鑽
- ☆その他 ( )
- ☆センター日勤の週休日の診療業務 (8:25~12:30)
- ☆センター日勤の週休日の診療業務 (13:20~17:00)
- ☆センター夜勤前の診療業務 (8:25~12:30)
- ☆センター夜勤前の診療業務 (13:20~17:00)
- ☆センター夜勤後の診療業務 (9:30~12:30)
- ☆センター夜勤後の診療業務 (13:20~17:00)
- ☆センター夜勤の週休日の診療業務 (8:25~12:30)
- ☆センター夜勤の週休日の診療業務 (13:20~17:00)

□ 状態	申請種類	年月日	申請内容	業務内容	申請理由	承認状況
文書作成等						
110	：	■■■■■	【■■■■科 医師】	勤務時間 116:45	内深夜 08:45	時間外 39:15 内休日 09:45
<b>13日（木）に夜勤</b>						
□	未承認	時間外勤務申請（実績）	<a href="#">2023/07/14</a> (金)	09:30~11:30	時間外勤務	☆センター夜勤後の診療業務（9:30~12:30）
110	：	■■■■■	【■■■■科 医師】	勤務時間 113:21	内深夜 07:00	時間外 35:51 内休日 10:20
<b>9日（日）に夜勤</b>						
□	未承認	時間外勤務申請（実績）	<a href="#">2023/07/09</a> (日)	08:25~12:20	時間外勤務	☆センター夜勤前の診療業務（8:25~12:30）
□	未承認	時間外勤務申請（実績）	<a href="#">2023/07/10</a> (月)	09:30~12:26	時間外勤務	☆センター夜勤後の診療業務（9:30~12:30）
□	未承認	休日勤務申請（実績）	<a href="#">2023/07/11</a> (火)	08:25~12:30 13:20~17:00	時間外勤務	☆センター夜勤の週休日の診療業務（8:25~12:30） ☆センター夜勤の週休日の診療業務（13:20~17:00）
110	：	■■■■■	【■■科 医師】	勤務時間 105:35	内深夜 07:00	時間外 28:05 内休日 01:00
<b>6日（木）に夜勤</b>						
□	未承認	時間外勤務申請（実績）	<a href="#">2023/07/06</a> (木)	08:25~12:30 13:20~17:00	時間外勤務	☆センター夜勤前の診療業務（8:25~12:30） ☆センター夜勤前の診療業務（13:20~17:00）
<b>夜勤後は勤務せずに帰宅している</b>						
□	未承認	時間外勤務申請（実績）	<a href="#">2023/07/13</a>	07:20~08:25 17:00~21:30	時間外勤務	☆外来・手術等の業務に起因する朝の回診等 ★救急患者手術・麻酔
□	未承認	時間外勤務申請（実績）	<a href="#">2023/07/14</a>	07:00~08:25	時間外勤務	☆外来・手術等の業務に起因する朝の回診等

# 2024年に向けての対応

- 交代勤務制導入により最大150時間/年程度の時間外勤務が増える医師が出る可能性
- 診療科内での業務分担や働き方の見直しでA水準が可能と判断した
- 2～3の診療科でB水準の申請を検討したが、診療科側からA水準にしたいとの要望があった
  - B水準を適用した場合の制約を回避
    - 連続勤務が28時間以内
    - 勤務間インターバル9時間
- すべての診療科でA水準とする

ご清聴ありがとうございました